

エヌエフ基金 研究開発奨励賞 第1回から第13回までの130名の受賞者の皆様が、多方面の研究分野でご活躍されていることを、エヌエフ基金としては大変嬉しく思っております。

当基金では、受賞者の相互交流、知の相互作用を目的に、昨年「エヌエフ基金 サロン」を開設し、科学技術を巡るさまざまな話題を取り上げ、議論を進めております。

第4回サロンは、下記の通り、当基金理事で研究開発奨励賞選考委員である宇都宮大学名誉教授 阿山みよし先生に話題をご提供していただきます。オンライン形式で開催いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

また、今回は、東京・池袋にあるエヌエフ基金オフィスを配信会場としますので、お近くの方は是非会場へお越しください、今後はこのサロン活動を機軸に、研究者ネットワークを構築・強化し、継続的な交流の場を提供してまいりますので、どうぞご期待ください。

■日時：2025年4月23日(水) 17:30～19:00

■オンライン配信

すべての人に快適な色彩環境を目指して

宇都宮大学名誉教授

同大オプティクス教育研究センター
名誉フェロー

あやま
阿山 みよし 氏



関東では桜が満開となり、その薄紅色は菜の花の黄や葉の緑との色対比で人々を楽しませています。私たちは豊かな色彩環境を享受していますが、色の見え方が一人一人違うことや色覚の多様性については広く知られてはいません。多様な色覚タイプがある中で大多数の人は正常3色型で、次に多いのはいわゆる先天性赤緑色弱といわれるタイプです。これらの人々は、色の見えだけに基づく脳内色空間は正常3色型とは異なりますが、色名だけに基づく脳内色名空間では大きな違いはなく、個人ごとに工夫して多数派に合わせた色名空間を構築しているようです。ただ低彩度の色識別は不安定になります。この話題提供をきっかけに、公共空間やプレゼンテーションでの色表示について考えて戴ければ幸いです。また、研究課題継続の重要性や国際学術活動での経験にも触れたいと思います。

お問い合わせ先 エヌエフ基金 事務局 award@nf-foundation.or.jp